

平成 29 年度 第 3 回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：平成 29 年 12 月 22 日（月）10 時 00 分～

場 所：市民活動センター2 階大会議室

出席者：

会 長	田中 伸弘	湖西市 副市長
委 員	小林 廉(代理)	遠州鉄道(株)運輸業務部
委 員	鈴木 哲也	遠州鉄道労働組合 副執行委員長
委 員	平野 洋一	静岡県バス協会 専務理事
委 員	大久保 公雄	浜松バス(株)代表取締役社長
委 員	小笠原 弘樹	遠鉄タクシー(株)営業部長
委 員	藪田 丈夫	中部運輸局静岡運輸支局 運輸企画首席専門官
委 員	山崎 友寛(代理)	静岡県交通基盤部 地域交通課
委 員	井倉 基	静岡県浜松土木事務所 維持管理課長
委 員	日内地 昭広	静岡県湖西警察署 交通課長
委 員	田内 清之	湖西市老人クラブ連合会 会長
委 員	竹島 清一	湖西市自治会連合会 会長
委 員	土屋 正征	湖西市社会福祉協議会 会長
委 員	佐原 功一郎	湖西市商工会 副会長
委 員	渥美 博之	新居町商工会 事務局長
委 員	佐々木 由美子	市民代表
委 員	小笠原 昌之	市民代表
座 長	伊豆原 浩二	愛知工業大学客員教授
委 員	松本 裕行	湖西市 企画部長
委 員	山本 渉	湖西市 健康福祉部長
委 員	片山 彰宏	湖西市 都市整備部長
事務局	疋田 行彦	湖西市 企画部 市民協働課長
事務局	佐原 敬	湖西市 企画部 市民協働課 課長代理
事務局	村松 慶太	湖西市 企画部 市民協働課 公共交通係

1 開 会

2 会長挨拶

3 報告事項について

報告事項 1 平成 29 年度湖西市バス運行評価改善報告書について

<事務局>

説明

<委員>

P55～56 路線別の評価と改善提案で、「路線ごとに維持基準を検討し、基準を満たさ

ない場合については・・・」のご説明があったかと思いますが、基準について、収支率や乗合人数の上昇など、どのようなものを1つの目安と考えていますか。

<事務局>

まだ検討段階ではございますが、基本的に1日当りの1便毎の輸送量を考えております。また、収支率につきましては、浜松市が20%を切るようなルートについては最低保証運行、一番少ない便数で運行するという形をとっているということも聞いておりますので、参考にしながら、公共交通会議で審議させていただきまして、基準の設定をしていきたいと考えております。

<委員>

今の回答の中で、収支率20%とありましたが、系統によっては小学生などが利用しているのでは、ひとつの基準だけを考えるのではなく、路線の重要性や利用者の中身を考えた上で20%だけでなく、但し書きなどを入れておくようお願いしたい。

<座長>

ある意味で公共交通の役割というのは、公平性の確保と効率性の確保といったところをいかに上手く組み合わせていくかということだと思います。かといって、運行しないと市民の皆さんに支障が出る路線は、数量だけで単純に評価できない所があると思いますので、その部分は、地域公共交通会議で皆さんに決めていくということになります。事務局から素案を出していただいた上で、議論していただけたらと思いますのでよろしく願いいたします。

ご意見ご質問等なければ確認させていただいたということで、2つ目の報告事項に移りたいと思います。

報告事項2 運行事業者等選定結果について

(コーちゃんバス、デマンド型乗合タクシー実証実験)

<事務局>

説明

質問等なし

4 協議事項について

協議事項1 生活交通確保計画(案)について

遠州鉄道(株)路線について

湖西市コミュニティバス路線等について

<事務局>

説明

<委員>

資料の3-1ですが、浜名線が地域間幹線系統ということでご説明をいただきましたが、これは、合併前の区割りです。4市町村をまたぐ系統で、利用実態をお伝えさせて

いただきます。

旧浜松市内を移動されている方が全体の 63.3%です。ほとんどの方が旧浜松市内の移動をこの路線によってされています。

続いて割合的に多いのが、新居町の中で移動されている方が全体の 20%です。この路線の特徴として、通学の方が全利用者の 4 割ほどを占め、その中でも新居小学校や篠原小学校・舞阪小学校といった小学生の方が登下校で路線を使われているという傾向が非常に強いということになっています。

J R 東海道線と平行してますので長距離の移動への動議付けは難しいところではありますが、小学生の貴重な登下校に利用されており、最近では高齢者の方に 1 ヶ月 6,000 円で割安な定期券を販売しております。東海道線と比べて、割安な定期券のあるバスで湖西市から浜松市へ行かれる方が徐々に増えてきてはおります。

今後は、路線を維持していきたいという考えで、補助申請の対象の系統ということで申し出をさせていただきました。以上簡単ではございますが我々からの補足とさせていただきます。

<委員>

資料 3-1 様式第 6 号ですが、1 日当たりの運行回数が現行と計画で 0.6 減っているようなので実走距離が少なくなっているんですが、これはダイヤの見直しですか。

<事務局>

ダイヤ見直しです。現行は平日が 6 往復 6 回であったのを、5 回に日中の便を減便させていただきました。

<委員>

その周知は、既に行っているのですか。

<事務局>

10 月のダイヤ改正で減便しておりますので、周知はさせていただいております。

<座長>

静岡県の対策協議会は何時されるんですか。

<委員>

2 月の下旬くらいです。

<座長>

来年の 2 月の下旬に、静岡県の生活交通確保対策協議会が開催されますので、そこへ提出させていただいて、皆さんと議論することになるかと思えます。

<委員>

資料 3-2 は、自主運行バスについての申請だと思うんですけど、現行とダイヤ及び路線で変わった点があれば教えていただければありがたいです。

<事務局>

来年度の自主運行バスにつきましては、入出新所鷺津線として、路線は一緒ではございますが、コーちゃんバスとしてコミュニティバスとして運行する予定になっております。

<委員>

現行 29 年度運行と、計画の 30 年運行との違いはどこか教えていただきたいです。

<事務局>

自主運行バスとして遠鉄タクシーが運行して頂いたところ、事業者が変わりましてコーちゃんバスに移行する予定です。

<委員>

それは前回の議論のところですね。様式 6 だと現行と計画が上段下段で変わって来るはずではありませんか。

<事務局>

様式を提出する時に修正させていただきます。

<座長>

書き方を整合しておきましょう。来年の 4 月からコーちゃんバスの仕組みに統一して行きたいということなので、土曜日がなくなってコーちゃんバスの運行の形態に統一するので、その点を分かるようにしておきましょう。

<委員>

26、27、28 のところが計画と現状が同じになってしまっているの修正をお願いします。

<座長>

静岡県と相談させていただいて、記述を修正追加等するようにしたいと思います。

それでは生活交通確保計画（案）の遠州鉄道さんの路線浜名線と湖西市コミュニティバス路線については、修正をお願いするということを条件でご承認いただいてもよろしいでしょうか。事務局で次回で結構ですので報告をお願いしたいと思います。それでは 2 つ目の協議事項に移りたいと思います。

協議事項 2 地域公共交通確保維持改善事業 平成 29 年度事業評価について

<事務局>

説明

<委員>

記載の間違いだと思いますが、資料 4 の表の右から 2 つ目浜松バス白須賀新居鷺津線の「利用者人数 16,733 人対し、実利用者 16,733 人と下回った。」と人数が同じなのはおかしいので修正しておいてください。

<事務局>

利用者人数 16,733 人は間違いでございまして、利用者目標 18,977 人と訂正をお願いしたいと思えます。

<委員>

お願いがあります。中部様式 1 の 3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的な取り組み内容の中で、免許返納者に対する支援の仕組みを 4 月から実施していますが、免許返納した人が全員無料券を申請をしているかどうかや、申請しない人については、なぜいないのかという点についてアンケートを取ってほしい。

また、申請した人については、使っているのかどうかを聞き取っていただきたい。そうすれば、概ねどのような人が無料でも利用しているかという内容が分かってくると思います。そのようなことを、今後の利用促進として活用していただければありがたいなと思えます。大変ですけれど、よろしくお願ひしたいと思えます。

<座長>

来年度には、そのようなフォローアップもしておかないといけないかと思えます。ありがとうございます。運輸支局と相談しておいていただきたいと思えます。

私からの注意点を申し上げますと、1 つ、形成計画で目標を掲げてチェックや評価に対して来年の行動を載せる形式で記載して貰っていますが、今年度はそれは実施できない訳ですね。形成計画の策定が 5 月の末だったので、取り組みに対する評価の部分を、“形成計画に沿ってやった”と書いてしまうと、評価基準などについての数値まで確定できないですよ。これらのことから、今回のような形にしたと説明しておかないと間違えますので注意して下さい。

もう 1 つは、目標達成に向けた公共交通に関する具体的な取り組み内容のところで、計画推進で補助をもらっている事業ともらっていない事業があります。ここは湖西で実施した利用促進事業のうち、計画推進で補助をもらっている事業については、網掛けをするなど、分かりやすくしておいてもらうのがいいと思えます。補助をもらってなくても、利用促進を多くやっているというアピールポイントを書いた方がいい。

湖西市は計画推進だけではなく、補助事業に加えて、自分たちでやっているところが多くあるということに記載して頂いて、ハードの話だけでなく、ソフトの話も PR しておかないと意味がないので、追加しておいてください。また支局の方でご相談いただいて是非よろしくお願ひします。

基本的には中部様式は市民の皆さんが読んでも、市が実施していることを理解できるように書くということが基本です。

修正は私の方で確認し、また支局の方にもお願ひして確認していただくということを条件でご了承いただけたらと思えますが、いかがでしょうか。それでは、今の条件付でご了承いただいたということで進めさせていただきます。ありがとうございます。

それでは次の協議事項に移りたいと思えます。

協議事項 3 岡崎鷺津線、白須賀新居鷺津線のバス停の新設、施設等について

<事務局>

説明

<委員>

西湖西整形外科というのは、新しくオープンしたもので、それに伴っての処置だと思いますが、(2)の南上の原東の現在の位置と、移動先の位置が分からないので教えてほしいです。

<事務局>

地元の話しで申し訳ございませんが、南上の原東のバス停は、南部幹線の藤味という料理屋の前に上下線とも対面に設置しております。そこから西の方に100mずらしますと、南部電設がある場所の近くに移動するような形になります。

<委員>

南部電設さんの前辺りですね。分かりました。

<委員>

今日は持って来ておりませんが、中部運輸局で“バス停を作るに当って”というパンフレットを今年度作成しております。バス停1つ作ったり、変えるのに大変な作業がかかるということを周知にも使えると思いますので、作成できましたらご活用よろしくをお願いします。

<座長>

大変参考になると思います。地元の皆さんにも情報提供していただければよいと思います。

<座長>

それでは、バス停の新設移設についてはご了承いただいたということで、進めさせていただきます。それでは4つめの協議事項に移りたいと思います。

協議事項4 入出新所鷺津線に関する調整事項について

<事務局>

説明

<座長>

来年の4月から入出新所鷺津線という名前でこーちゃんバスとして運行していただくということですが、これについて調整事項ご質問ご意見ございましたらお受けしたいのですがいかがでしょうか。

<委員>

今回の入出新所鷺津線は、始点から終点まで3つまたぐので300円ということになるのでしょうか。

<事務局>

別紙の方でわかりにくいと思うのですが、裏面に地図を載せさせて頂いています。ご指摘の通り300円です。

<座長>

ちなみに現行はいくらですか。

<事務局>

正太寺から鷺津駅まで 350 円くらいでございます。

<委員>

運行開始日までに予算が確定しない場合については、契約を行わないものとする。となっているがどういうことなんでしょうか。事業者の方にはかなり負担がいつてしまうとと思うので、どのような理由であげてあるのか教えて欲しい。

<事務局>

予算については現在決定していないので、万が一予算がつかなかった場合、運行ができないということになるかもしれないので、このように記載させて頂いております。

<委員>

事業者は不利益を承知の上で、契約している訳ですね。

<座長>

契約事項の話なので、予算が通ったら運行予定業者と打合せの上、滞りのないようお願いします。

<委員>

当該路線に係る収入額というのをおそらく、乗降調査をやられた上で算定していると思われませんが、収入を運行経費から引いて補助金を出すのか最初から収入を見込んで契約されるのか教えて下さい。実績払いですか。

<事務局>

契約行為については、実績払いでございます。運行経費を年 4 回に分割して、収入額などを引いた額を最後に清算いたします。

<座長>

ダイヤについては、3 月に JR のダイヤ改正があった場合は、それに応じてこのダイヤは柔軟に対応して替えるということをご承知いただき、ご了承いただきと思えます。よろしく申し上げます

また、契約に関しては、事業者がが努力して一生懸命やったことを還元してあげられるような仕組みを、我々が事業費、収入、収支率というような効率性の議論をしていた時に必ずついて回る話でありまして、委員の皆さんもその部分への対策を今後議論していきましょう。

協議事項 5 デマンド型乗合タクシー（実証実験）実施に関する調整事業について

<事務局>

説明

<座長>

ご質問、ご意見ございましたらお願いします。

<委員>

どのような運行スタイルになるか教えてください。

<事務局>

運行スタイルにつきましては、事前登録をしていただいて登録して頂いた上で、ドアツードアを予定しております。白須賀地区にはチラシを作りまして、来年1月に説明会を予定しています。また、便も8時から16時まで決まっております。

<委員>

そうするとAさん、Bさん、Cさんが一斉に8時の予約をしたら、タクシー会社がルートを組立てていくということでしょうか。

<委員>

できれば帰りの時間もこちらで聞いて予約を受けれるようにしたい。病院では診療時間もありますが、1時間前に帰りの便を予約してもらう形をとらせていただきたいと思います。

<委員>

岡崎地区の施設一覧表の中にパレマルシェが入っているのはわかるんですけども、もう一つ南部ショッピングセンターというスーパーがあるのですが、できれば、地元密着のスーパーですからそれも入れてはどうかと思いますが。

<事務局>

希望者が多ければ希望に応じて増やすことも考えております。

<委員>

希望者が多いとか少ないとかはどのように把握しますか。

<事務局>

実証実験をして、利用者にアンケートを取りましてそれでまたどこどこに行きたいとか希望が多ければ増やすということを考えております。

<座長>

実証実験をやりながらでいいと思いますが、登録の時に、希望する施設を聞いて把握するというようにしてもよいと思います。

<委員>

実行運行の評価基準をどうされますか。人数など基準は様々ですが、平均乗合率が1.0になってしまうと一人で乗っているただのタクシーになってしまうので、どのようにお考えですか。

<事務局>

市の方針といたしましては、デマンド実証実験を実施させていただきまして、検討中で申し訳ないのですが、利用者数とか乗合率を考えています。広報では、タクシーと違う乗合が前提である部分を強調していきたいと考えております。

評価方法につきましては、来年6月の公共交通会議を見据えて、一度運行した中で、利用がどれあるのか、売り上げがどれくらいあるのか、登録がどれくらいあるのかといったデータが出た中で評価をしようと考えております。

<委員>

実験の結果になると思いますが、各地区への移動を見て、多くが鷺津へ行っているようであれば、本格運行の際には、鷺津地区のみとして、鷺津からはバスに乗っていただくようなことも必要かと思いました。

<座長>

事務局はぜひ参考にさせていただければ

<委員>

いずれにしても、我々市民にとっては、コーちゃんバスでも行きにくいところでもデマンドでなら行けるという利点もありますので、実証してみた結果、どんどん変更してもいいんじゃないでしょうか。

<委員>

自治会視察研修の関係で、デマンドの調査に行こうというと考えています。4人乗ったらということで料金が設定されていますが、帰りまで4人を乗せていくというのはなかなか難しい部分があると考えている。そのような部分も含めて調査をしてきたい。

<座長>

ヒアリングには一緒に行かれますか。

<事務局>

連合会長と相談の上、調整いたします。

<座長>

予約が1時間前になっていますが、愛知県ではほとんどが30分前になっているので、今後の検討事項だと思います。実証実験を行うに当たって、地域の皆さんにこういう所はチェックしてもらいたいと明確にしておき、本格運行する時の評価をどのように考えているかということを整理しておかなければ、うやむやの形になりかねない。

<事務局>

確認ですが、指定施設の増加に関しては報告でよろしいのでしょうか。

<座長>

増やしていただいて報告して頂ければよいと思います。

頻繁に替えるわけにはいかないけれど、地元の皆さんが使いやすい仕組み、バスとのサービスとの関係をどのようにするのかという点を、実験の状況等を踏まえてご報告いただけたらと思います。

これについてご了承いただけたということでもいいでしょうか。ありがとうございました。

協議事項 6 企画乗車券の企画・制作に伴う協議運賃について

<事務局>

説明

<座長>

質疑がなければ、この内容で2月から発売させていただくということで、承認とさせていただきます。事務局から他にありますか。

<事務局>

次回会議は2月頃を予定しております。長時間の協議ありがとうございました。